

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：デイサービスセンターきれんげ

サービス種類：□グループホーム ・ □小規模多機能型居宅介護

□地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

■地域密着型 通所介護 ・ □認知症対応型 通所介護 (該当に■)

日 時：令和7年9月24日(水) 13:50~14:50

場 所：きれんげ 役員室

出席者：

利用者代表	なし	知見を有する者	なし
利用者家族	1人	大田市職員	2人
地域住民の代表	1人		
事業所職員(管理者、生活相談員)			2人

報告事項：

利用者の状況

① 登録者、利用者の人数…30名

② 要介護度 (要介護平均：3.07)

介護度	人数
要介護1	7人
要介護2	4人
要介護3	6人
要介護4	6人
要介護5	7人

③ 男女比率… 2.4 : 7.6

④ 平均年齢…90.5歳

⑤ 地域別利用

鳥井町	久手町	波根町	大田町	久利町
16	3	0	5	1
三瓶町	静間町	長久町		
1	3	1		

議 題：

1 活動状況報告

【職員研修について】

5月	介護現場で気をつけたいプライバシー保護
6月	緊急時の対応に関する研修
7月	事故発生又は再発防止に関する研修
8月	感染症及び災害に係る業務継続計画のための研修（感染症）
9月	身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修

【行事活動について】

4月	野菜の苗植え 花見 誕生日会 書道教室
5月	バラ園へのお出かけ 誕生日会 書道教室
6月	まき団子作り 野菜収穫 書道教室 誕生会
7月	七夕会 誕生会
8月	夏祭り 誕生日会
9月	敬老会 誕生会 書道教室

2 ご意見・ご要望について

・事故・ヒヤリハットの内容について

【質問】すいかで咽せがありました。タッピングなどの対応をされたのかどうか教えてください。

【回答】歌がお好きな方で歌いながら食べておられた。タッピングなどの対応はせず何事もなかった。その後はBGMに音楽を切り替えるようにしました。

【質問】入浴時、湿布を剥がす事が原因で内出血について

どのような状況であったか？

【回答】血液の流れをよくする薬を内服されるのと高齢者は皮膚が弱い状態だという事をきちんと把握した上の対応ができていなかった、配慮が欠けていたため起きた。

【質問】感染症について コロナ・インフルエンザ等 これから流行時期に入るが、対応としてどういった対応をされるか？

【回答】現在、面会制限等 時間制限は設けているが、流行期になれば制限を行っていく。利用者への対応として最低限、体調管理と検温、消毒等は継続して行っています。

補足…保健所からの情報としてコロナは現在落ち着いている。急性呼吸器感染症や感染性胃腸炎などが流行している。

・物価高騰、米の値段も上がり 11月から食費を上げる予定でいる。最低賃金も上がっていく中で介護報酬が上がらないと経営も難しくなっていく。なかなか介護の担い手が少ない中、若い方が一般企業と介護の給料を比べた際になかなか介護の仕事には就かない。人口も減っている中で将来が不安である。

介護の仕事に就いてもらうために様々な取り組みを行っているが、なかなか厳しい状況が続いている。第10期介護保険事業計画として今後も考えていかないといけない課題となります。

次回開催予定 令和8年3月予定

以上